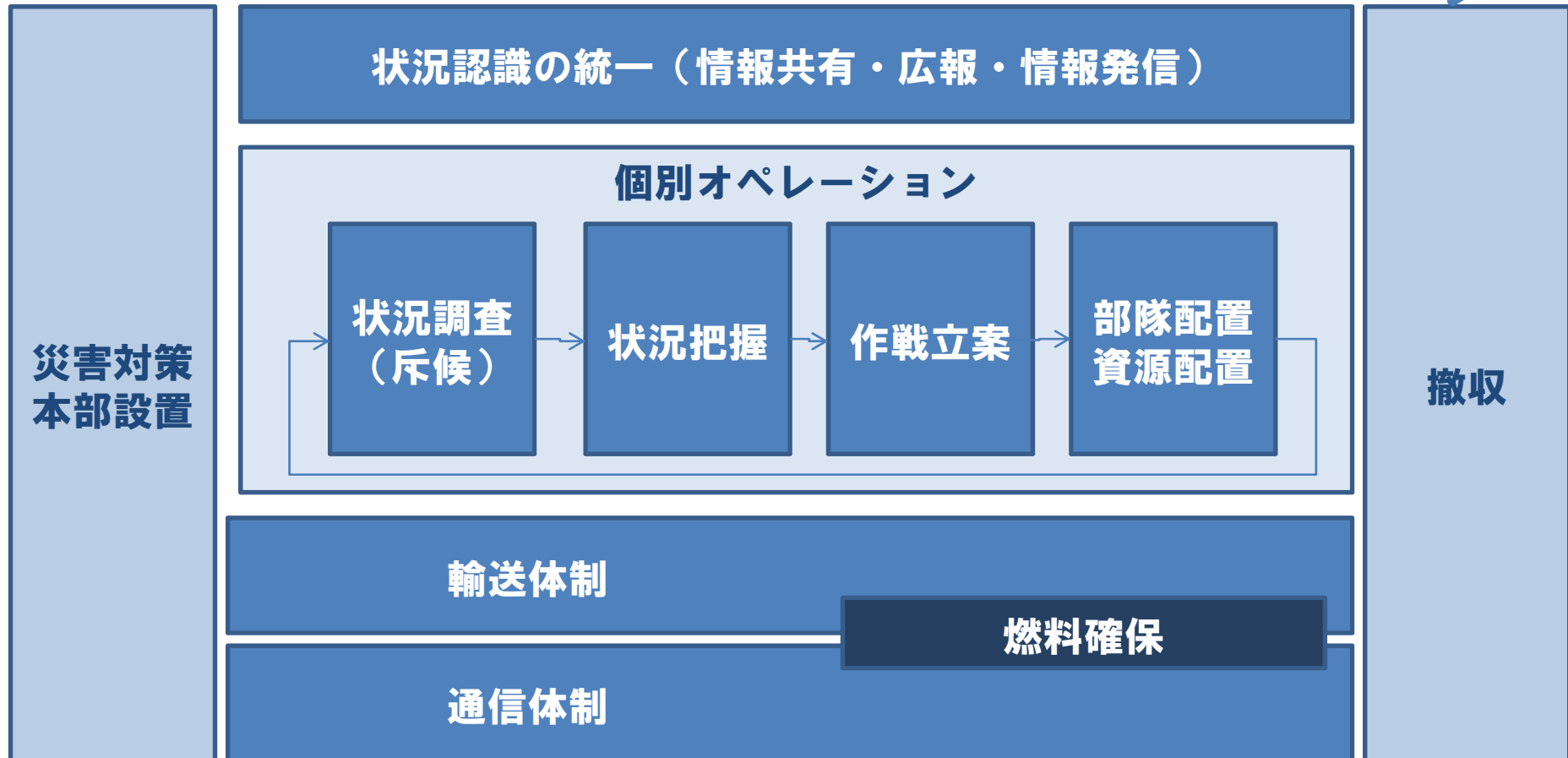


検討会で明確になった効果的な応急対応のポイント

組織の対応

時間経過



大前提

インフラ機能維持 (電力確保・道路確保・通信確保)

東日本大震災での災害応急対応フェーズ

第1フェーズ 情報空白期

3/11 現場に情報収集能力なし、何が起きたかわからない、発信すべき情報をもたない
“2-3日” 、防災関係機関は自前で情報収集、pushで出勤、東北縦貫確保

第2フェーズ 陸路未啓開期

3/13 自家発燃料枯渇 津波来襲地域で航空機中心の救助（孤立者対策：生存救出）、衛星電話
3/18 道路啓開完成 R45

第3フェーズ 応急対応体制確立期

3/20 被災者生活支援特別対策本部立ち上げ

第4フェーズ 応急対応最盛期

4/7 被災者生活支援 課題と取組み（分類）を定期的に情報発信（7月15日まで毎週）

第5フェーズ 応急対応終息期

5/20 東日本大震災に 東日本大震災に係る被災地における生活の平常化向た当面の取組方針
7/22 「東日本大震災に係る被災地における生活の平常化に向けた当面の取組方針」の主な進捗状況
（東日本大震災復興対策本部と内閣府防災担当への引き継ぎ）